

別海町議会会議録

第3号（平成30年 9月14日）

○議事日程

- | | | |
|-------|--------|--|
| 日程第 1 | | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第 2 | | 各議案の討論・採決 |
| | | (1) 平成30年度別海町一般会計補正予算（第3号）
（町長提出議案第64号） |
| | | (2) 平成30年度別海町介護保険特別会計補正予算（第1号）
（町長提出議案第65号） |
| | | (3) 平成30年度町立別海病院事業会計補正予算（第2号）
（町長提出議案第66号） |
| | | (4) 平成30年度別海町水道事業会計補正予算（第1号）
（町長提出議案第67号） |
| | | (5) 別海町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
（町長提出議案第68号） |
| | | (6) 別海町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
（町長提出議案第69号） |
| | | (7) 工事請負契約の締結について（上西春別中学校旧校舎・旧講堂とりこわし工事）
（町長提出議案第70号） |
| | | (8) 別海町教育委員会委員の任命について
（町長提出同意第4号） |
| 日程第 3 | 発議第 2号 | 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について |
| 日程第 4 | 発議第 3号 | 平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書について |
| 日程第 5 | | 議員派遣の件 |
| 日程第 6 | | 委員会の閉会中の継続調査の件 |

○会議に付した事件

- | | |
|-------|------------|
| 日程第 1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第 2 | 各議案の討論・採決 |

- (1) 平成30年度別海町一般会計補正予算(第3号)
(町長提出議案第64号)
- (2) 平成30年度別海町介護保険特別会計補正予算(第1号)
(町長提出議案第65号)
- (3) 平成30年度町立別海病院事業会計補正予算(第2号)
(町長提出議案第66号)
- (4) 平成30年度別海町水道事業会計補正予算(第1号)
(町長提出議案第67号)
- (5) 別海町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(町長提出議案第68号)
- (6) 別海町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
(町長提出議案第69号)
- (7) 工事請負契約の締結について(上西春別中学校旧校舎・旧講堂とりこわし工事)
(町長提出議案第70号)
- (8) 別海町教育委員会委員の任命について
(町長提出同意第4号)

日程第 3	発議第 2号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について
日程第 4	発議第 3号	平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書について
日程第 5		議員派遣の件
日程第 6		委員会の閉会中の継続調査の件

○出席議員(16名)

1番 小 椋 哲 也	2番 外 山 浩 司
3番 大 内 省 吾	4番 木 嶋 悦 寛
5番 松 壽 孝 雄	6番 森 本 一 夫
7番 今 西 和 雄	8番 西 原 浩
9番 沓 澤 昌 廣	10番 小 林 敏 之
11番 瀧 川 榮 子	12番 戸 田 憲 悦
13番 中 村 忠 士	14番 渡 邊 政 吉
副議長 15番 佐 藤 初 雄	議 長 16番 松 原 政 勝

○欠席議員(0名)

○出席説明員

町 長 曾 根 興 三	副 町 長 佐 藤 次 春
-------------	---------------

教 育 長 伊 藤 多加志
 福 祉 部 長 河 嶋 田鶴枝
 建設水道部長 山 岸 英 一
 病院事務長 大 槻 祐 二
 監査委員事務局長 小 湊 昌 博
 総 務 部 次 長 今 野 健 一
 産業振興部次長 門 脇 芳 則
 教 育 部 次 長 石 川 誠
 総合政策課長 佐々木 栄 典
 税 務 課 長 宮 本 栄 一
 福 祉 課 長 干 場 みゆき
 町 民 課 長 青 柳 茂
 水産みどり課長 新 堀 光 行
 管 理 課 長 伊 藤 一 成
 上下水道課長 外 石 昭 博

総 務 部 長 竹 中 仁
 産業振興部長 登 藤 和 哉
 教 育 部 長 山 田 一 志
 会 計 管 理 者 阿 部 美 幸
 農委事務局長 中 村 公 一
 福 祉 部 次 長 青 柳 茂
 建設水道部次長 小 島 実
 総 務 課 長 今 野 健 一
 財 政 課 長 寺 尾 真太郎
 防災交通課長 麻郷地 聡
 介護支援課長 竹 中 利 哉
 農 政 課 長 小 野 武 史
 商工観光課長 伊 藤 輝 幸
 事 業 課 長 小 島 実
 生涯学習課長 石 川 誠

○議会事務局出席職員

事 務 局 長 浦 山 吉 人 主 幹 松 本 博 史

○会議録署名議員

1 番 小 椋 哲 也
 3 番 大 内 省 吾

2 番 外 山 浩 司

◎開議宣告

○議長（松原政勝君） おはようございます。
ただいまから第4日目の会議を開きます。
ただいま出席している議員は16名であります。
定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（松原政勝君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により議長において指名いたします。
1番小椋議員、2番外山議員、3番大内議員、以上3名を指名いたします。

◎日程第2 各議案の討論・採決

○議長（松原政勝君） 日程第2 各議案の討論・採決を行います。
初めに、議案第64号平成30年度別海町一般会計補正予算（第3号）の討論に入ります。
討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。
これから採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第64号は、原案のとおり可決されました。
議案第65号平成30年度別海町介護保険特別会計補正予算（第1号）の討論に入ります。
討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。
これから採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第65号は、原案のとおり可決されました。
議案第66号平成30年度町立別海病院事業会計補正予算（第2号）の討論に入ります。
討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。
これから採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第66号は、原案のとおり可決されました。

議案第67号平成30年度別海町水道事業会計補正予算（第1号）の討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第67号は、原案のとおり可決されました。

議案第68号別海町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第68号は、原案のとおり可決されました。

議案第69号別海町介護保険条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第69号は、原案のとおり可決されました。

議案第70号工事請負契約の締結について（上西春別中学校旧校舎・旧講堂とりこわし工事）の討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第70号は、原案のとおり可決されました。

同意第4号別海町教育委員会委員の任命についての討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、同意第4号は、原案のとおり同意されました。

◎委員会付託省略の議決

○議長(松原政勝君) ここでお諮りします。

本定例会に提出されております日程第3 発議第2号及び日程第4 発議第3号の2件については、会議規則第39条第3項の規定に基づき委員会の付託は省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(松原政勝君) 異議なしと認めます。

したがって、日程第3 発議第2号及び日程第4 発議第3号の2件については、委員会の付託は省略することに決定いたしました。

◎日程第3 発議第2号

○議長(松原政勝君) 日程第3 発議第2号林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

15番佐藤議員。

○15番(佐藤初雄君) それでは、意見書の提案内容を説明いたします。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書の内容について御説明申し上げます。

本道の森林は、全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や林業成長産業化総合対策事業等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地被災の防止、木造公共施設の整備、林業事業体の育成など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

今後、人口林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や平成31年度に創設される(仮称)森林環境譲与税を活用した地域の特性に応じた森林整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

1つ。

森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

2つ目。

森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

発議第2号林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出いたします。

平成30年9月14日、別海町議会議長、松原政勝殿。

提出者、別海町議会議員、佐藤初雄。

賛成者、同、西原浩、同、小林敏之、同、戸田憲悦、同、沓澤昌廣。

なお、意見書の朗読について先ほどの提案理由と同様のため割愛いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月14日、北海道野付郡別海町議会議長、松原政勝。

意見書提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣。

以上であります。

御審議の上、議員各位の御賛同により御決定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上であります。

○議長（松原政勝君） 発議第2号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

○13番（中村忠士君） はい。

○議長（松原政勝君） 13番中村議員。

○13番（中村忠士君） はい。

仮称になっていますけども森林環境譲与税について触れられていますんで、1点だけ伺いたいと思っています。

たしかこれは、2018年度の税制改正大綱の中に組み込まれていて、森林環境税と連動しているというふうに理解しているわけですけども、森林環境税については、いろんな問題があるというふうに、いろんな批判も出ました。

ただこれは、国会で成立しているという状況ですが、連動している森林環境税についての説明といたしますか、提案者の認識のほどをお聞かせいただければというふうに思います。

○議長（松原政勝君） 15番佐藤議員。

○15番（佐藤初雄君） はい。

ただいまの中村委員の質問にお答えをいたします。

中村議員がおっしゃいましたように、この森林環境譲与税を含めまして、29年12月22日に閣議決定されてございます。

森林環境税（仮称）ですけど、国内に住所を有する個人に年額1,000円課税する国税でございまして、個人住民税に合わせて徴収する方法ということになっております。

それから国への払い込みですね、これは、都道府県を經由して国の交付税及び譲与税特別

会計に振り込むということになってるそうです。

この施行期日は、平成36年に課税されるということで、今日は平成30年なので5年後ということですね、それで森林環境譲与税と連携するんですけども、森林環境譲与税は森林環境税に相当する額になってるようで、市町村とか都道府県に対して譲与するということになっておりまして、その譲与の基準はですね、都道府県に10分の1、それから市町村に10分の9の配分になっているようです。

その間、5年間どうするんだと、こういうことだと思います。

これにつきましてはですね、森林環境譲与税（仮称）ですけどね、これは交付税とか譲与税の特別会計に借入れを起こして、やっていくというようなシステムで、それ以上私わかりませんので、お答えになるかどうかはわかりませんが、そういうような今後の日程になっているようです。

以上であります。

○議長（松原政勝君） 13番中村議員。

○13番（中村忠士君） はい、ありがとうございます。

大筋理解をしたところでありますが、ここで意見書（案）として述べられている具体的な要望事項につきましてはこのとおりだなと、私も考えているところではあります。

ただ、この森林環境譲与税に連動している森林環境税に関しては、先ほども申し上げましたけれども、大きく2点問題があるというふうに言われていたし、私もそうだなというふう思うんですが、1つは、約40に近い府県が既に森林環境税を導入しているんですね。

だから、二重課税じゃないかという点が大きな問題になりました。

それからもう1点は、広く国民から徴収するという点に関しては、国民に理解を、あるいは国民にも責任をとることでの理由というのは、確かに私はそのことも大事だと思います。

ただ、CO₂を発生している企業の責任はどうなんだということが問題になったと思います。

大きくはこの2点が問題だったと思うのですが、この点について提案者の認識をお伺いしたいと思います。

○議長（松原政勝君） 15番佐藤議員。

○15番（佐藤初雄君） はい。

いま、2点ほど中村議員から指摘がございました。

私が個人的に決めているわけじゃないですけど、去年の12月までの閣議決定するまで、これらにつきましては長年の中で議論された結果でありまして、そういったことはこれが全てではないんで、答弁になるかわかりませんが、今後それらにつきましても議論されていくんでないかと期待申し上げます。

○議長（松原政勝君） 13番中村議員。

○13番（中村忠士君） はい、よろしいです。

○議長（松原政勝君） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） これで討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、発議第2号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第4 発議第3号

○議長（松原政勝君） 日程第4 発議第3号平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

8番西原議員。

○8番（西原 浩君） はい。

それでは、平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書の内容について御説明申し上げます。

去る9月6日に発生した北海道胆振東部地震はマグニチュード6.7、厚真町で国内6例目となる道内観測史上最大の震度7、安平町とむかわ町で震度6強など、北海道の広い範囲で震度4以上を観測する極めて激しい地震でありました。

この大地震により、広範囲で大規模な土砂崩れや地すべり、液状化現象などによる家屋の倒壊、道路の陥没等によって多くの方々の尊い命が奪われ、多数の方々が負傷し、今もなお多くの被災者の方々が不安や心労を抱えながら不自由な避難生活を余儀なくされています。

地震発生後、北海道全ての世帯、295万戸で停電が発生し、全ての道民が被災者となる事態となり、広い地域で断水・電話の不通、さらには、新千歳空港を発着する国内線・国際線全便の欠航、北海道新幹線、在来線、各路線バス等の主要な交通機関全てが運休に追い込まれるなど、ライフラインが断絶する被害となり道民生活に甚大な影響を及ぼしました。

別海町議会としても一日も早い被災地からの復旧、復興に向け、全力で取り組むことを期するものであります。

本町の基幹産業である酪農・漁業においては、生乳の廃棄、乳牛の乳房炎の発症や、秋サケの水揚げを見合わせるなどの甚大な損失をこうむり、商工業、観光業等その他の産業の被害も著しく、加えてこの停電長期化に伴い、通信環境の一部不通や食糧、燃料などの生活物資の不足が生じ、住民生活に大きな不安が広がりました。

よって、国においては、住民の一刻も早い生活の安定や災害の早期復旧などが進められるよう、次の事項について早急かつ万全の対策を講ずるよう強く要望するものであります。

1点目。

北海道胆振東部地震に伴う災害について早期に激甚災害指定を行うこと。

2点目。

本町及び道内市町村の応急対応や復旧、復興に要する経費を初めとする災害復旧対策に対して、十分な財政上の支援措置を講ずること。

3点目。

被災者が元の生活を取り戻すための必要な各種支援制度について、十分な財政措置を講ずるとともに迅速、かつ柔軟な運用を行うこと。

4点目。

停電等に伴う被害が甚大な農林水産業やその関連加工製造業並びに商工業者等、被災中小企業に対する円滑な資金融通なども含め、早期復旧に向けた総合的な支援を行うこと。

発議第3号平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書。

上記の議案を、別紙のとおり別海町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出いたします。

平成30年9月14日、別海町議会議長、松原政勝殿。

提出者、別海町議会議員、西原浩。

賛成者、同、佐藤初雄、同、小林敏之、同、戸田憲悦、同、沓澤昌廣。

なお、意見書の朗読について先ほどの提案理由と同様のため割愛いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月14日、北海道野付郡別海町議会議長、松原政勝。

意見書提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（防災担当）。

以上であります。

御審議の上、議員各位の御賛同により御決定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上であります。

○議長（松原政勝君） 発議第3号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。

質疑に入ります。

ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） これで討論を終わります。

これから採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、発議第3号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第5 議員派遣の件

○議長（松原政勝君） 日程第5 議員派遣の件を議題といたします。

内容について、お手元に配付のとおりであります。

お諮りします。

議員派遣については、お手元に配付のとおり派遣することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、お手元に配付のとおり派遣することに決定いたしました。

◎日程第6 委員会の閉会中の継続調査の件

○議長（松原政勝君） 日程第6 委員会の閉会中の継続調査の件を議題といたします。

各委員長から、委員会において調査中の事件について、会議規則第75条の規定によってお手元に配りました申出書のとおり閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りします。

各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松原政勝君） 異議なしと認めます。

したがって、各委員長から申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

◎閉会宣告

○議長（松原政勝君） これで本日の日程は、全部終了いたしました。

会議を閉じます。

平成30年第3回別海町議会定例会を閉会します。

閉会 午前10時26分

◎町長挨拶

○議長（松原政勝君） 町長挨拶。

○町長（曾根興三君） 第3回町議会定例会の閉会にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

定例会では、4日間にわたりまして慎重な御審議をいただき、全ての提出いたしました案件について御決定を賜りまして誠にありがとうございます。

また、本定例会では、平成29年度の各会計決算認定について決算審査特別委員会が設置されました。

小林委員長初め、7名の委員の皆様方には、お忙しい時期とは思いますが、審議いただくこととなりましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、定例会の初日に御挨拶の中で申し上げましたが、9月6日に発生した胆振東部地震による停電災害の影響でございまして、大変今も酪農家を中心に苦しんでいる状況があります。

それらを踏まえて、産業祭の開催に対しまして、町民から多くの問い合わせがありましたので、9月11日に臨時の産業祭実行委員会を開催いたしまして、対応を協議いたしました。

会議の中では、各委員から「まちを元気にするためにも開催すべき」等の意見が多く出されたところであり、併せて、本町の開墾、発展に大変重要な役割を果たした馬文化を継承していくことも大切なことであるというふうに考えております。

つきましては、予定どおりに産業祭を開催することとなりましたので、明日と明後日の2日間、議員の皆様を初め、多くの町民の皆様方に御来場いただき、祭りを盛り上げていただきたいというふうに思います。

ただ、被災されている方々におきましては、無理をせずに被災対応をまずは優先して、そして産業祭に参加できる方々がありましたら、そういう順序で対応していただければと各農協のほうにもお願いしているところでございます。

次にもう1点、町立別海病院に関しての御報告でございます。

8月下旬に税務署による源泉所得税調査が実施されまして、派遣病院等との契約などに基づいて支給しておりました出張医師の旅費に係る源泉徴収方法について指摘を受けました。

新聞報道では、ほかの自治体でも同じような内容について指摘を受けているようでございまして、うちの町だけではなくて、今国税があちこちの自治体に調査に入っているようでございます。

うちにつきましては、過去の支給分について、その一部が所得に当たると税務のほうから判断されまして、所得税を追加納付するように指摘を受けており、病院といたしましては、所得に関する見解、これが税務署と若干違いがあったというふうに受け止めております。

現在、早期に追加納付することで税務署とも協議の最中でございまして、調整をしているところでございます。

いずれにしても、協力をいただいている各お医者さんへの今後の報酬及び経費の支払い方法を改める必要があるというふうに判断し、現在、職員に見直しを指示しているところでございます。

詳細がわかりましたら、後ほどまた議会のほうに御報告いたしたいと思います。

次に、来月以降の主な日程について申し上げます。

10月7日には、本町最大のスポーツイベントでございます「別海町パイロットマラソン」が開催されます。

今回は、フルマラソンが187名多い1,424名、5キロが昨年よりちょっと少ないですけども、29名少ない472名で、合計1,896名のエントリーを受けているところでございます。

次に、平成28年から改修工事を進めておりました旧奥行臼駅通所、これは、今月末に工事が完了する予定となっております、10日14日から1週間、建物内部を一般に公開いたしたいと思っております。

これに先立ちまして、10月11日には議員の皆様を初め、関係者を招きまして、内覧会を開催する予定としております。

後日、改めまして皆様方には御案内を申し上げます。

10月12日から15日には、枚方との「菊と緑の会 in べつかい」を開催いたします。

今年は、枚方市を初め、関西各地から12名の女性が来町される予定でございます。

また、この期間中は、例年恒例ではございますけれども、第58回の「西別川あきあじまつり」も開催される予定になっております。

次に、翌週の10月20日には、札幌市において「第27回別海・札幌ふるさと会」が開催されます。

最後に、11月になりますけれども、平成27年度から改築工事を進めておりました上西春別中学校が9月に講堂、10月には外構工事が終わりました、全ての工事が完了することから、11月10日に落成式典を開催する予定でございます。

こちら議員各位に改めて御案内をさせていただきますので、是非御臨席を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以上、閉会に当たっての御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（松原政勝君） 以上で終わります。

皆様大変御苦労さまでございました。